⑤ 内装改修工事

㉑ 吸音材

[表6.13.1]

種類	記号	厚さ(mm)
・ｶｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ9号	RW－B	※25 ・
※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	GW－B	◎25 ○50

22 壁紙張り

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備考
	紙製	繊物	ﾋﾞﾆﾙ	化学繊維	無機質		
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面等の下地調整　[6.14.3][7.2.5][7.2.6][表7.2.4][表7.2.5]
※RB種　・RA種(施工箇所：　　)

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面の下地調整　[6.14.3][7.2.7][表7.2.7]
※RB種　・RA種(施工箇所：　　)

㉒ ﾓﾙﾀﾙ塗り

モルタル ○現場調合材料　[6.15.3]
(ｾﾒﾝﾄは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による)
・既調合材料

既製目地材　※適用しない　・適用する(形状は図示による)　[6.15.3]
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　[6.15.5][4.4.9]
・

24 ﾀｲﾙ

ﾀｲﾙの種類　[6.16.3]

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性		うわぐすり		役物		色		備考
		あり	なし	施釉	無釉	あり	なし	標準	特注	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

ﾀｲﾙの試験張り　※行わない　・行う　[6.16.3]
ﾀｲﾙの見本焼き　※行わない　・行う　[6.16.3]
ｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理　・目荒し工法　・　[6.16.3]
壁ﾀｲﾙ張りの工法　[6.15.5][表6.16.4][表6.16.6]
内装ﾀｲﾙ　※ﾀｲﾙ接着剤張り　・積上げ張り

25 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能 (注1)	表面仕上げ材 (注2)
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

注1：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13 帯電防止床ﾀｲﾙ張り、16 ｶｰﾍﾟｯﾄ敷きによる。

ｽﾛｰﾌﾟ及びｽﾛｰﾀﾞｰ
※製造所の標準仕様(ただし、構成材は標仕20.2.2(2)(ｲ)による)
・図示
ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応
仕様　※製造所の標準仕様(ｺﾝｾﾝﾄ本数は別途設備工事)
ｺﾝｾﾝﾄの箇所数　※10～15㎡ に1箇所程度
配線取出しﾊﾟﾈﾙ
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%
配線取り出し開口　※40mm×80mm程度の開口
空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ
※無し
・有り(※固定式　・可動式　：施工箇所は図示)

26 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ	遮音性 (JISによる記号)
※ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	※鋼板 (※0.6　・0.8) ・	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付け ・ｱｸﾘﾙ樹脂焼付け ・	・有り

不燃材料の認定　・有り

27 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般ﾀｲﾌﾟ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音ﾀｲﾌﾟ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質　22壁紙張りによる。
遮音性能　※36dB/500Hz以上　・36dB/500Hz未満
パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

28 トイレブース

表面仕上げ材　・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板(標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き)　(20.2.5)
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板(標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き)
脚部(ｽﾃﾝﾚｽ製)　※幅木ﾀｲﾌﾟ　・支柱ﾀｲﾌﾟ
ﾄﾞｱｴｯｼﾞ　※曲面形　・ﾌﾗｯﾄ形　・製造所の仕様

29 階段滑止め

材種　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ　・黄銅　(20.2.6)
形状　※ﾋﾞﾆﾙｲﾝｻｰﾄ入り
両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　※有り(・ｽﾃﾝﾚｽ製　※ﾋﾞﾆﾙ製)　・無し
・ﾋﾞﾆﾙｲﾝｻｰﾄ無し
幅(mm)　・50　・65　・75　・
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

⑥ 内装改修工事

30 階段手すり

種類	施工箇所
※集成材ｳﾚﾀﾝﾗｯｶｰ仕上げ(市販品　径　約45mm又は約60mm)	
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ(幅　約50mm)	
・	

31 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種類	区分	種類	寸法(mm)	備考
・黒板	※焼付け ・	・鋼製) ・ほうろう		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	・	・		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分

32 室名札

(20.2.10)

材種	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受金具
※塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製	※260×80×5	ヶ所	ヶ所	・文字書込み	※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)
・ｱｸﾘﾙ樹脂製	・	ヶ所	ヶ所	・文字彫込み	・
・県産杉板材	※260×80×12	ヶ所	ヶ所	・ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ	

33 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形式	種類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
※横形	※ｷﾞｱ式　・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・樹脂製　・木製	※25　・35 ・100
・縦形	・1本操作ｺｰﾄﾞ ※2本操作ｺｰﾄﾞ	・焼付け塗装仕上げのｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・特殊防炎加工のｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100

34 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する
※市販品(ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材)

使用区分	溝幅×深さ(mm)
・横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※90×150　・120×150　・
・縦形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※120×80　・150×80　・
・ｶｰﾃﾝ (又はﾚｰｽ共)	※150×80　・180×80　・
・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※180×150　・

色彩　・B－1　・B－2(・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ)
・図示

35 ロールスクリーン

(20.2.13)

操作方法	幅及び高さ	材種	品質等
・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式	・	・ｶﾞﾗｽ繊維製	
・ｺｰﾄﾞ式(ﾁｪｰﾝ式)	・	・合成・天然繊維製	
・電動式	・	・木製	

巻取りﾊﾟｲﾌﾟ、ｳｪｲﾄﾊﾞｰ、操作ｺｰﾄﾞ、操作ﾁｪｰﾝの材料
※製造所の仕様　・

36 カーテン及びカーテンレール

カーテン
・既存再利用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)(表20.2.1)

取付箇所	形式		開閉操作方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品
・ ・	・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・ﾌﾗﾝｽひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ	・ ・

暗幕用ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

カーテンレール
・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

強さによる区分	材料	仕上げ	形状
※10~90	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※ｱﾙﾏｲﾄ	※角形
・	・ｽﾃﾝﾚｽ製	・	・

37 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法(mm)
・額縁ﾀｲﾌﾟ	下記以外全て	※450×450
・目地ﾀｲﾌﾟ	※図示 ・天井仕上げ材がORの範囲	・600×600

38 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法(mm)
※ｱﾙﾐ製	※ｱﾙﾐ　・ｽﾃﾝﾚｽ　・黄銅	下記以外全て	※600×600
・ｽﾃﾝﾚｽ製			・

39 くつふきマット

市販品　材質　・塩化ﾋﾞﾆﾙ製(ｺｲﾙ状、ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)
・ﾋﾞﾆﾙ製(ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)
・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ製(受枠とも)
・ｽﾃﾝﾚｽ製(受枠とも)

41 人研ぎ製流し等

※ｻﾝﾀﾞｰ掛け目荒らし後、ｸﾗｯｸ等をｴﾎﾟｷｼ系ﾊﾟﾃ処理し、ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。
・再研ぎ出し(図示による)

⑥ 内装改修工事

41 屋内掲示板

改修工法	枠の材質	表面の材質	下地
・かぶせ工法	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※特殊発砲ﾋﾞﾆｰﾙ張り	・図示による
・撤去工法	・	・	・

42 しっくい塗り

※施工箇所

室名	部位

※左官業者
新潟県左官業協同組合(平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。)主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。
※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法
使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票(証明書)等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。
上記以外については、「既調合しっくい塗り標準仕様書」(新潟県土木部都市局営繕課)による。

⑦ 塗装改修工事

① 塗装業者

※(社)日本塗装工業会の会員　・監督員の承諾する業者

2 材料

屋内の壁及び天井仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。　[7.1.3]

③ 下地調整

[7.2.1～7.2.7]

種別	施工箇所
・RA種	・図示による
※RB種	※RA種、RC種以外の全て(内部)　・図示による
・RC種	・図示による

既存ﾓﾙﾀﾙ下地面等のひび割れ部の補修　[表7.2.4～表7.2.6]
※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による)　・行わない

④ 錆止め塗料塗り

[7.3.2][7.3.3][表7.3.1]～[表7.3.4]

下地の種類	錆止め塗料の種別	塗替えの種別	新規塗りの種別
鉄鋼面	※A種　・B種	・A種　・B種 ※C種	見掛かり部分　※A種　・B種 見隠れ部分　・A種 ※B種
亜鉛めっき面	※A種　・B種 ・C種	・A種　・B種 ※C種	新規鋼製建具等※A種　・B種 その他　・A種 ※B種

⑤ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP)

[7.4.3]～[7.4.5][表7.4.1]～[表7.4.3]

下地の種類		塗替えの種別	新規塗りの種別	
木部		・A種　※B種　・C種	・A種　・B種	下地調整は各表の注意書きによる
鋼製建具	※亜鉛めっき面	・A種　・B種　・C種	・A種　※B種	
	・鉄鋼面	・A種　※B種　・C種	・A種　・B種	
その他	※亜鉛めっき面	・A種　※B種　・C種	・A種　※B種	
	※鉄鋼面	・A種　※B種　・C種	・A種　・B種	

6 ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り(CL)

塗替えの種別　・A種　※B種　[7.5.2][表7.5.1]
新規塗りの種別　・A種　※B種

7 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散系塗料(NAD)

[7.7.2][表7.7.1]

下地の種類	工程等	塗替えの種別	新規塗りの種別
ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ面等	下地調整	・RA種　※RB種　・RC種	「塗料その他」の欄による
	塗り種別	・A種　※B種	・A種　※B種

⑧ 耐候性塗料塗り(DP)

[7.8.2]～[7.8.4][表7.8.1]～[表7.8.3]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	上塗り
鉄鋼面	・A種　・B種　・C種	※A種	・1級 ・2級 ・3級
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種　・C種	※A種	・1級 ○2級 ・3級
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A－1種 ・A－2種 ・B－1種　・B－2種 ・C－1種 ・C－2種	・A－1種 ・B－1種 ・C－1種	

9 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)

[7.9.2]～[7.9.5][表7.9.1]～[表7.9.4]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別
ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面等	・A種　※B種　・C種	・A種　※B種
木部	・A種　※B種　・C種	※A種　・B種　・C種
鉄鋼面	・A種　※B種　・C種	・A種　※B種
亜鉛めっき面	・A種　※B種　・C種	・A種　※B種

10 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)

塗替えの種別　・A種　※B種　・C種　[7.10.2][表7.10.1]
新規塗りの種別　・A種　※B種

7 塗装改修工事

11 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T)

[7.11.2][表7.11.1]

塗替えの場合		新規塗りの種別
下地調整	塗替えの種別	・A種　※B種
RB種の場合	※A種　・B種　・C種	下地調整は表の注意書きによる

12 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC)

塗替えの種別　・A種　※B種　[7.12.2][表7.12.1]
新規塗りの種別　・A種　※B種

13 ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)

[7.13.2][表7.13.1]

適用箇所	塗料
・	・油性　・水性
・	・油性　・水性

14 木材保護塗料塗り(WP)

塗替えの種別　・A種　※B種　[7.14.2][表7.14.1]
新規塗りの種別　・A種　※B種

⑧ 耐震改修範囲以外の躯体改修工事

① ｺﾝｸﾘｰﾄの類別及び強度、品質

レディーミクストコンクリートの類別　[8.1.3][表8.1.1]
※1類　・Ⅱ類
普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度　[8.1.3][8.1.4]

設計基準強度Fc(N/mm²)	適用箇所	スランプ
※24	◎図示	○18
・	・	・

ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上りの平たんさ　・a種　○・b種　○・c種　[8.1.4][表8.1.5]
○無筋コンクリート
設計基準強度Fc(18N/mm²)　スランプ 18

② 鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号	呼び名(mm)
○SD295	○D16以下
・SD345	・D19以上
・	

③ あと施工ｱﾝｶｰ

あと施工ｱﾝｶｰの材料　[8.2.4]
・金属拡張ｱﾝｶｰ
※接着系ｱﾝｶｰ　ｶﾞｾﾙの種類　※有機系

④ セメントの種類

※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又は　[8.2.5][表8.2.3]
ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種
・普通ｴｺｾﾒﾝﾄ
・高炉セメントB種(　　)
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

⑤ 骨材の品質

ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分　[8.2.5]
・A
※B　(ｺﾝｸﾘｰﾄ中のｱﾙｶﾘ総量Rt=3.0kg/m³)

⑥ 混和材料の種別

※混和剤　・混和材　[8.2.5]

⑦ 鉄筋の継手

※重ね継手　・　[8.3.4][表8.3.3]

⑧ 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、目地底から算定する。　[8.3.5][表8.3.6]
・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施工箇所	改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10　・

⑨ 増設・補強工事のｺﾝｸﾘｰﾄの打込み

工法の種類　[8.21.8][8.23.5]
※流し込み工法
・圧入工法

⑩ モルタル及びグラウト材

グラウト材　[8.2.12]
※無収縮グラウト材
※プレミックス形　・現場調合形

⑪ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面の目荒し

目荒らしの程度　[8.21.3]
※柱・梁面　打継ぎ面の15～30%程度
※増打ち壁増設　既存壁打継ぎ面の10～15%程度
※平均深さ2～5mm(最大5～7mm)程度の凹部を施す
・監督員の指示による

事業名	南魚沼市上水道事業
工事名	令和5年度　(繰越)改良第1号 畔地浄水場非常用自家発電設備更新工事
施工地名	南魚沼市　畔地　地内
建築改修特記仕様書-4	縮尺　(A1)
図面番号 A-4	工期　着手日　令和　年　月　日 竣工日　令和　年　月　日
発注者　南魚沼市長	監督員　担当 主任
請負者	配管